

『フランダースの犬』の映画化、アニメ化、紙芝居化とベルギー

野坂 悦子

*原作 *A Dog of Flanders* の刊行—1872 年

作者ウィーダ（本名 Marie Louise de la Ramée, 1839-1908）と、その時代
9編収録した *Bimbi : Stories for Children*, 1882 年 では？

*アメリカ映画の中の『フランダースの犬』

① 1914 年、②1924 年、③1935 年、④1960 年、⑤1999 年
アメリカで公開された劇場版は、すべてがハッピーエンド。それはなぜか？

*日本の中の『フランダースの犬』

本を通して：初の日本語訳 — 1908 年
戦前の傾向 （宇野浩二、池田宣政による再話…②の日本公開後）
戦後の傾向 （アニメ化以前、アニメ化以後）
紙芝居では？ （1952 年/1965 年）

アニメーションを通して：TV 化 （カルピス子ども劇場）— 1975 年
（東京ムービー新社）— 1992 年
映画化 （劇場公開）— 1997 年
（実写映画も）— 2009 年
「スノープリンス：小さな恋のメロディ」

*ベルギーの中の『フランダースの犬』

人気漫画シリーズ *Suske en Wiske* の中での紹介。アニメーション放映、感情的な反
発、観光資源としての評価、国外の読者を意識しての絵本化……。

映像人類学者 An van Dienderen & Didier Volckaert による調査研究
『パトラッシュ、フランダースの犬—メイド・イン・ジャパン』DVD 2008 年
A Dog of Flanders, Een nooit geziene kijk op Vlaanderen
ラノー出版（ベルギー）2010 年

*「子ども」の「ため」の「物語」とは何か？